

InstallShield 11 Express

2005 年 9 月 6 日

はじめに

アプリケーションの開発には、いつも貴重な時間と労力が膨大に費やされます。それにもかかわらず、今なお旧式のインストーラや、自社インストーラで満足している方がいるのはなぜでしょう。信頼できるインストーラを素早く、簡単に作成することができる InstallShield 11 Express Edition では、時代に対応する Windows Installer 3.1、IIS 6.0、Crystal Reports 8.5 SP3、Try and Buy 機能をはじめとする最新のテクノロジーと業界基準のサポートが搭載されています。

InstallShield 11 Express Edition は、一般的なプロジェクト向けに生産性に優れた使いやすいインストール オーサリング環境を提供します。Express Edition では、ウィザード、タスク ベースのビューなど、チェック リスト形式のインターフェイスの案内に従うだけで、一般的なインストールを短時間で作成でき、作業効率を飛躍的に上げることができます。Windows およびモバイル デバイスを対象にした信頼性の高いセットアップがトレーニングなしで、驚くほど短時間で、簡単に作成することができます。Express Edition は、従来の統合開発環境、または Visual Studio .NET インターフェイスに完全に統合して実行することができます。

InstallShield 11 Express Edition は、InstallShield X Express Edition からのダイレクトアップグレードです。

[トップに戻る](#)

システム要件

プロセッサ

Pentium III クラスの PC (500 MHz 以上を推奨)

RAM

256 MB の RAM (512 MB 推奨)

ハードディスク

400 MB の空き領域

ディスプレイ

1024 x 768 (XGA) 以上の解像度

オペレーティング システム

Windows 2000、Windows XP、または、Windows Server 2003

ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 5.01 (IE 5.5 以降を推奨)

権限

システム上での管理者権限

マウス

Microsoft IntelliMouse またはその他の互換性のあるポインティング デバイス

[トップに戻る](#)

参考情報

InstallShield X リリースではスキーマが修正されています。既存プロジェクトは、InstallShield X で開いた時に新しいスキーマにアップグレードされます。

[トップに戻る](#)

新機能

Windows Installer 3.1 サポート

Microsoft Windows Installer 3.1 がサポートされている InstallShield Express Edition では、パッチの配布を簡単に行うことができる多数の新機能が搭載されています。これには、Windows Installer 3.1 と共に利用可能な 次の 2 つの新しいパッチ関連プロパティのためのサポートが含まれています : MinorUpdateTargetRTM、OptimizedInstallMode。

また、Express Edition の再配布可能ファイル ダウンローダ ウィザードを使ってダウンロードすることにより、Windows Installer 3.1 再配布可能ファイルを再配布することもできます。MSI 3.1 エンジンダウンロードする前に Windows Installer 3.1 プロジェクトをビルドすると、MSI 3.0 が代わりに使用されます。Windows Installer 3.1 の最小要件は、Windows 2000 SP3 以降です。インストールに MSI 3.1 エンジンを含めるよう選択することもできますし、このプロパティは [バージョン 3.1 または 2.0 (どちらかシステムに最適なもの)] オプションを選択することもできます。インストールを最適オプションと共にビルドすると、Express Edition は 3.1 エンジンと 2.0 エンジンを含めません。ターゲットオペレーティングシステムが Windows 2000 SP3 以降の場合、MSI 3.1 エンジンが (既に存在しない場合) インストールされます。ターゲットシステムが最小要件を満たさない場合、MSI 2.0 が (既に存在しない場合) インストールされま

す。

IIS 6.0 サポート

Microsoft IIS (インターネット インフォメーション サービス) 6.0 のサポートで、Web サービスの配布がより簡単になりました。IIS 6.0 では、Web アプリケーション インフラストラクチャの信頼性、管理可能性、安全性を高める多数の新しい機能が紹介されています。IIS 6.0 は、高性能 Web サイト、Web アプリケーション、Web サービスの開発および配付を可能にするサービスとツールが 1 つに統合された、Windows Server 2003 アプリケーション プラットフォームの重要なコンポーネントです。

Express Edition では、Windows 2003 を使用しているコンピュータには、制限された IIS 6.0 サポートが提供されています。無制限 Web サイト作成、アプリケーション プールおよび Web サービス拡張のサポートなどを含む完全サポートは、InstallShield Premier Edition および InstallShield Professional Edition で提供されています。

Try and Buy 機能

Trialware ビューを使って、製品の実行可能ファイル (複数可) の Trialware 設定を構成し、製品を著作権侵害からプロテクトすることができます。InstallShield を利用して製品をプロテクトすると、次の利点があります。

- 最小の時間と費用の投資で、製品の Trialware を作成することができます。
- トライアル版を未許可で延長することを阻止する柔軟で洗練されたセキュリティテクノロジーを使用して強固な有効期限の設定を行えます。
- エンドユーザーがプロテクトされたアプリケーションを起動したときに Trialware ランタイム ダイアログで必ず表示されるハイパーリンクを指定できます。ハイパーリンクは、ユーザーがそれをクリックしたとき、製品の購入方法などの情報が載っている Web ページを表示します。
- 購入済み製品が他のエンドユーザーによって共有された場合、自動的にトライアルモードに戻されます。

モバイル デバイス サポート

モバイル デバイスのインストールを簡単に作成し、PocketPC 2003、Smartphone 2003、すべての Palm ハンドヘルド デバイスを含むすべての Window CE プラットフォームまで配付することができます。

Express Edition が採用するアプリケーション ファイルを保護する技術についてのテクニカル情報については、[Trialware FAQs](#) をご覧ください。

[トップに戻る](#)

バグ修正

1-11Z0Q9

今回より Windows XP SP2 上で製品を Update Service に登録できるようになり、承認後も [ODBC] エラーで応答しなくなりました。

1-18FVR9

Compact プロジェクトにデジタル署名ができるようになりました。

1-18PX9A

累積 Quickpack は今回から、以前の QuickPatch でアップグレードされたファイルをアップグレードします。

1-14KXHD

Update Service ビューで、InstallShield インターフェイスのリンクから既に登録済みの製品の新しいバージョンを登録できるようになりました。

1-DN1Y3

ダイナミックにリンクされたファイルを自己登録できるようになりました。

1-FPXT8

直接ビルドの場所を指定できるようになりました。

1-JM7AX

DemoShield Wizard For Express に関する問題は、修正されました。

[トップに戻る](#)